

科目名	学校図書館概論
------------	----------------

科目の概要とねらい

本科目では、学校教育における学校図書館の意義と果たすべき役割を明らかにし、その理念、発展過程、教育行政との関わり、学校図書館運営のあり方など、学校図書館全般についての基本的な理解を目指す。また、学校図書館の運営実務を担う司書教諭・学校司書等の職務と役割を明確にし、司書教諭等との協働、校内の協力体制づくり、研修の重要性にもふれる。さらに、学校図書館メディア、学校図書館活動、公共図書館等との図書館ネットワーク等についての基本的な理解を図る。

本科目は、学校司書科目全体の総論的性格を持つため、実務的な内容は最小限に抑え、他の科目との関連に留意する。可能な限り今日の学校教育の諸課題をふまえ、意欲的・創造的な学修を促す講義内容とする。

講義計画

講義回数	講義内容
第1回	タイトル 学校図書館の理念と教育的意義
	1) 学校教育における学校図書館の理念と意義 2) 学校図書館の機能と役割
第2回	タイトル 学校図書館の発展過程と今日の動向
	1) 学校図書館の歴史的展開 2) 学校図書館の現状 3) 学校図書館の国内外の動向
第3回	タイトル 教育法規・行政と学校図書館
	1) 教育法規と学校図書館 2) 教育施策と学校図書館 3) 教育行政と学校図書館
第4回	タイトル 学習活動と学校図書館
	1) 学習指導要領と教育課程 2) 教育課程の展開に寄与する学校図書館
第5回	タイトル 読書活動と学校図書館
	1) 読書活動の意義 2) 読書活動の推進と学校図書館
第6回	タイトル 司書教諭と学校司書の職務と役割
	1) 司書教諭の職務と役割 2) 学校司書の職務と役割 3) 司書教諭と学校司書の役割分担と協働

講義回数	講義内容
第7回	タイトル 学校経営と学校図書館
	1) 学校経営組織における学校図書館 2) 館長としての校長 3) 校内の協力体制づくり 4) 学校図書館の予算
第8回	タイトル 学校図書館の運営
	1) 学校図書館の組織と運営 2) 学校図書館におけるマネジメントサイクル 3) 学校図書館の評価と改善
第9回	タイトル 公共図書館等との協力・ネットワーク
	1) 学校図書館と公共図書館等との異同 2) 学校図書館と公共図書館等との協力の意義 3) 図書館ネットワークと学校図書館
第10回	タイトル 学校図書館の施設・設備
	1) 学校図書館環境のあり方 2) 学校図書館環境の整備・充実
第11回	タイトル 学校図書館の情報資源(メディア)
	1) 学校図書館における情報資源(メディア)の種類 2) 学校図書館におけるコレクション構築のあり方 3) 学校図書館における情報資源(メディア)の整備・充実
第12回	タイトル 学校図書館の活動
	1) 学校図書館活動の内容と方法 2) 学校図書館活動の拡大
第13回	タイトル 学校図書館の実際
	1) 小学校における学校図書館の特徴と実際 2) 中学校における学校図書館の特徴と実際 3) 高等学校における学校図書館の特徴と実際 4) 特別支援学校における学校図書館の特徴と実際
第14回	タイトル 学校図書館に関する研修
	1) 研修の必要性 2) 司書教諭・学校司書のための研修の内容と方法 3) 全教職員を対象とした研修の内容と方法
第15回	タイトル これからの学校図書館
	1) 学校図書館をめぐる課題 2) 学校図書館の展望

科目名	図書館情報技術論
------------	-----------------

科目の概要とねらい

「情報センター」としての機能を担う今日の学校図書館においては、教員に対する情報資源や機器の活用を支援したり、児童生徒の情報活用能力育成のための支援が求められている。したがって、司書教諭・学校司書には、基礎的な情報通信技術（ICT）とその活用についての知識・技能を深めることが欠かせない。本科目では、学校図書館に関わる基礎的な情報通信技術についての基本的な理解を目ざす。具体的には、コンピュータ、図書館業務システム、データベース、検索エンジン、電子情報資源等について解説するとともに、それらの学校・学校図書館における活用にもふれる。可能な限り、演習的な学修を取り入れ、実際の講義内容とするよう留意する。

講義計画

講義回数	講義内容
第1回	タイトル 情報技術と現代社会 1) 情報技術の発展と社会 2) 図書館情報技術の変化
	タイトル コンピュータの基礎 1) コンピュータの発展過程と現状 2) コンピュータの仕組み 3) コンピュータ活用の実際(学校図書館を中心に)
第3回	タイトル ネットワークの基礎 1) ネットワークの発展過程と現状 2) ネットワーク(主にインターネット)の仕組み 3) ネットワーク活用の実際(学校図書館を中心に)
	タイトル ネットワークの応用(1) 1) 学校図書館における情報発信 2) ウェブサイトの構築の実際(1)
第5回	タイトル ネットワークの応用(2) 1) ウェブサイトの構築の実際(2) 2) ウェブサイトの評価
	タイトル 図書館業務システムの仕組み 1) スタンドアロン型システム(業務ソフトを含む)の仕組み 2) クラウド型システムの仕組み 3) 学校図書館における図書館業務システムの実際

講義回数	講義内容
第7回	タイトル データベースの仕組み
	1) データベースの技術的特性 2) データベースの種類(商用データベースを含む) 3) データベース活用の実際(学校図書館を中心に)
第8回	タイトル 検索エンジンの仕組み
	1) 検索エンジンの技術的特性 2) 検索エンジンの信頼性 3) 検索エンジン活用の実際(学校図書館を中心に)
第9回	タイトル 電子情報資源の種類と仕組み
	1) 電子情報資源の種類と特性 2) パッケージ系電子情報資源の仕組み 3) ネットワーク系電子情報資源(主に電子書籍、電子雑誌)の仕組み
第10回	タイトル 電子情報資源の管理と提供
	1) パッケージ系電子情報資源の管理と提供 2) ネットワーク系電子情報資源(主に電子書籍、電子雑誌)の管理と提供 3) 電子図書館サービスの導入と運用
第11回	タイトル コンピュータシステムの運用と管理
	1) システム管理の内容と方法 2) セキュリティの概要と留意点 3) フィルタリングの概要と留意点
第12回	タイトル デジタルアーカイブの仕組み
	1) デジタルアーカイブの技術的特性 2) デジタルアーカイブの構築と運用
第13回	タイトル 学校図書館における情報技術活用の特徴と実際
	1) 小学校図書館における情報技術活用 2) 中学校図書館における情報技術活用 3) 高等学校図書館における情報技術活用 4) 特別支援学校図書館における情報技術活用
第14回	タイトル 新たな情報技術の動向
	1) 新たな情報技術の動向(IoT、AIなど) 2) 新たな情報技術の図書館への応用事例
第15回	タイトル 図書館情報技術の課題と展望
	1) 図書館情報技術をめぐる課題 2) 図書館情報技術のこれから

科目名	図書館情報資源概論
------------	------------------

科目の概要とねらい

学校教育において学校図書館の活用を促すためには、学習活動・読書活動の展開に資するコレクションが質・量ともに充実していることが大切である。そのためには、図書はもちろんのこと、それ以外のさまざまな情報資源(メディア)も含めたコレクションを適正に構築できる実務能力が司書教諭・学校司書には求められる。

こうした実務能力の形成を目ざし、当科目では、学校図書館における情報資源(メディア)の教育的意義と役割、各種の情報資源の類型と特質、歴史、流通等についての基本的な理解を深める。また、コレクションを構築するために必要となる選択、収集、配架、管理、更新(廃棄を含む)等についての知識・技能の修得を図る。

講義計画

講義回数	講義内容
第1回	タイトル 情報資源の教育的意義と役割 1) 図書から多様な情報資源へ 2) 学習環境の変化と情報資源の活用
	タイトル 情報資源の発達と図書館サービス 1) 情報資源の歴史 2) 情報資源と図書館の関わり
第3回	タイトル 情報資源の類型と特質: 印刷資料 1) 図書 2) 継続刊行物(新聞、雑誌等) 3) 行政資料・地域資料等 4) ファイル資料(パンフレット等)の整備
	タイトル 情報資源の類型と特質: 非印刷資料 1) 一次資料 2) 視聴覚資料 3) 実物資料
第5回	タイトル 情報資源の類型と特質: 電子情報資源 1) パッケージ系電子情報資源 2) ネットワーク系電子情報資源
	タイトル 情報資源の類型と特質: アクセシブルな資料 1) 点字資料、録音資料、拡大文字資料、LLブック、マルチメディアデージー等 2) 多言語資料

講義回数	講義内容
第7回	タイトル 情報資源の生産(出版)と流通
	1) 出版の仕組み 2) 出版・流通のプロセスと現状 3) 出版・流通と図書館の関係
第8回	タイトル コレクション構築の理論
	1) コレクション構築のあり方 2) コレクション構築の方針や基準(収集方針、選択基準、廃棄基準など) 3) コレクション構築のプロセス 4) コレクション構築の担当組織
第9回	タイトル コレクション構築の実際: 選択
	1) 選択の方法 2) 選択に役立つツール
第10回	タイトル コレクション構築の実際: 収集・受入
	1) 収集の方法 2) 受入業務
第11回	タイトル コレクション構築の実際: 装備・配架
	1) 装備の内容と方法 2) 配架の原則
第12回	タイトル コレクション構築の実際: 保存・管理
	1) 書架整頓 2) コレクションの点検(蔵書点検) 3) 補修 4) 保存
第13回	タイトル コレクション構築の実際: 評価・更新
	1) コレクション評価の方法 2) 更新 3) 除籍・廃棄
第14回	タイトル 情報資源の提供・活用と著作権
	1) 情報資源と著作物 2) 著作権の基礎 3) 図書館における情報資源の提供と著作権
第15回	タイトル これからの図書館情報資源
	1) 図書館情報資源をめぐる課題 2) 図書館情報資源の展望

科目名	情報資源組織論
------------	----------------

科目の概要とねらい

本科目は、様々な情報資源を活用して今日の学校教育を展開していくために、学校図書館における情報資源の組織化の理論と技術についての理解を図る科目である。その際、学校図書館の教育設備としての特性を理解して、学校図書館における情報資源組織論を考察し、「読書センター」「学習センター」「情報センター」としての学校図書館を構築する実践力の育成を図る。

学校図書館法では、「図書、視覚聴覚教育の資料その他学校教育に必要な資料」を図書館資料と定義しているが、手に取れる資料だけでなく、今日必要な印刷資料・非印刷資料・電子資料とネットワーク情報資源を対象とし、書誌コントロール、書誌記述法、主題分析、メタデータ、書誌データの活用法等を理解する。その内容は、書誌コントロールの必要性、目録法、分類法、自然語と統制語、機械可読目録(MARC)やオンライン目録(OPAC)、新聞・雑誌・ファイル資料等図書以外の印刷資料の組織化、ネットワーク情報源の組織化、メタデータの必要性等の理解である。

講義計画

講義回数	講義内容
第1回	タイトル 学校図書館における情報資源とは 1) 学校図書館とは(利用者、目的、機能等) 2) 学校教育と学校図書館 3) 学校図書館情報資源とは
	タイトル 情報資源組織化の意義と理論・書誌コントロールと標準化 1) 情報資源組織法の意義 2) 情報組織業務 3) 著者・タイトル検索と主題検索 4) 書誌コントロールとは、書誌コントロールの必要性 5) 情報の獲得と書誌検索
第3回	タイトル 書誌記述法(主要な書誌記述規則)(1) 1) 目録とは 2) 目録の必要性和目録法
	タイトル 書誌記述法(主要な書誌記述規則)(2) 1) 日本目録規則(NCR)の解説と記述規則
第5回	タイトル 書誌情報の作成と流通 1) コンピュータ目録とMARC 2) 書誌ユーティリティ
	タイトル 書誌情報の提供 1) オンライン目録(OPAC)の管理と運用 2) 蔵書管理システム(記述)
第6回	

講義回数	講義内容
第7回	タイトル 主題分析の意義と考え方・主題分析と分類法(1)
	1) 情報資源の分類とは 2) 日本十進分類法(NDC)の解説 3) 学校図書館における特性と課題
第8回	タイトル 主題分析の意義と考え方・主題分析と分類法(2)
	1) 日本十進分類法(NDC)の解説 2) 学校図書館における特性と課題
第9回	タイトル 排列と配架
	1) 図書記号と巻冊記号 2) 別置とコーナー展示 3) 学年・学級文庫
第10回	タイトル 主題分析と索引法(主要な統制語彙)(1)
	1) 自然語と統制語 2) 件名と件名標目 3) フリーキーワード
第11回	タイトル 主題分析と索引法(主要な統制語彙)(2)
	1) 基本件名標目標(BSH)の解説 2) 学校図書館と件名標目表(「小学校件名標目表」「中学校・高等学校件名標目表」)
第12回	タイトル 多様な情報資源の組織化(1)
	1) ファイル資料(地域資料、行政資料等)の組織化
第13回	タイトル 多様な情報資源の組織化(2)
	1) 新聞・雑誌、実物・模型・作品、視聴覚資料などの組織化
第14回	タイトル ネットワーク情報資源の組織化とメタデータ
	1) メタデータの必要性 2) OPAC、ネットワーク(校内、公共図書館、学校図書館間)、検索システムと活用例 3) データベースの活用
第15回	タイトル 学習のまとめ・学校図書館における情報資源組織化の課題
	1) 学校図書館の特性を考慮した情報資源組織化の課題

科目名	情報資源組織演習
------------	-----------------

科目の概要とねらい

本科目は、学校図書館の情報資源を利用者である児童生徒および教員が検索しやすく利用しやすいように組織化をするため、その理論をもとに情報資源組織化の技術を具体的に演習する科目である。

まず、図書資料を中心とした目録、分類、件名の演習を行う。カード目録の理解により、書誌データ作成を理解する。そのために、日本目録規則(NCR)による記述記入を演習する。日本十進分類法(NDC)により主題分析と分類作業の演習を行い、基本件名標目表(BSH)による主題分析と件名付与の演習を行う。

次に、オンライン目録の実際と記述演習・書誌データの管理・検索システム等を内容とするコンピュータ目録の活用・管理・システム構築に関する演習を行う。

多様な学校図書館の情報資源の組織化、特に、ファイル資料の組織化やネットワーク情報源のメタデータ作成演習も行う。

講義計画

講義回数	講義内容								
第1回	<table border="1" style="width: 100%;"> <tr> <td style="width: 15%;">タイトル</td> <td>書誌データ作成の実際(1)</td> </tr> <tr> <td colspan="2">1) 日本目録規則(NCR)による目録の作成、記述記入演習</td> </tr> <tr> <td colspan="2">2) カード目録による理解</td> </tr> </table>	タイトル	書誌データ作成の実際(1)	1) 日本目録規則(NCR)による目録の作成、記述記入演習		2) カード目録による理解			
	タイトル	書誌データ作成の実際(1)							
1) 日本目録規則(NCR)による目録の作成、記述記入演習									
2) カード目録による理解									
第2回	<table border="1" style="width: 100%;"> <tr> <td style="width: 15%;">タイトル</td> <td>書誌データ作成の実際(2)</td> </tr> <tr> <td colspan="2">1) 日本目録規則(NCR)による目録の作成、記述記入演習</td> </tr> <tr> <td colspan="2">2) カード目録による理解</td> </tr> </table>	タイトル	書誌データ作成の実際(2)	1) 日本目録規則(NCR)による目録の作成、記述記入演習		2) カード目録による理解			
	タイトル	書誌データ作成の実際(2)							
1) 日本目録規則(NCR)による目録の作成、記述記入演習									
2) カード目録による理解									
第3回	<table border="1" style="width: 100%;"> <tr> <td style="width: 15%;">タイトル</td> <td>主題分析と分類作業の実際(1)</td> </tr> <tr> <td colspan="2">1) 日本十進分類法(NDC)による分類演習</td> </tr> <tr> <td colspan="2">2) 所在記号(請求記号)、図書記号、別置</td> </tr> <tr> <td colspan="2">3) 校種による配慮事項や適用等</td> </tr> </table>	タイトル	主題分析と分類作業の実際(1)	1) 日本十進分類法(NDC)による分類演習		2) 所在記号(請求記号)、図書記号、別置		3) 校種による配慮事項や適用等	
	タイトル	主題分析と分類作業の実際(1)							
1) 日本十進分類法(NDC)による分類演習									
2) 所在記号(請求記号)、図書記号、別置									
3) 校種による配慮事項や適用等									
第4回	<table border="1" style="width: 100%;"> <tr> <td style="width: 15%;">タイトル</td> <td>主題分析と分類作業の実際(2)</td> </tr> <tr> <td colspan="2">1) 日本十進分類法(NDC)による分類演習</td> </tr> <tr> <td colspan="2">2) 所在記号(請求記号)、図書記号、別置</td> </tr> <tr> <td colspan="2">3) 校種による配慮事項や適用等</td> </tr> </table>	タイトル	主題分析と分類作業の実際(2)	1) 日本十進分類法(NDC)による分類演習		2) 所在記号(請求記号)、図書記号、別置		3) 校種による配慮事項や適用等	
	タイトル	主題分析と分類作業の実際(2)							
1) 日本十進分類法(NDC)による分類演習									
2) 所在記号(請求記号)、図書記号、別置									
3) 校種による配慮事項や適用等									
第5回	<table border="1" style="width: 100%;"> <tr> <td style="width: 15%;">タイトル</td> <td>主題分析と分類作業の実際(3)</td> </tr> <tr> <td colspan="2">1) 日本十進分類法(NDC)による分類演習</td> </tr> <tr> <td colspan="2">2) 所在記号(請求記号)、図書記号、別置</td> </tr> <tr> <td colspan="2">3) 校種による配慮事項や適用等</td> </tr> </table>	タイトル	主題分析と分類作業の実際(3)	1) 日本十進分類法(NDC)による分類演習		2) 所在記号(請求記号)、図書記号、別置		3) 校種による配慮事項や適用等	
	タイトル	主題分析と分類作業の実際(3)							
1) 日本十進分類法(NDC)による分類演習									
2) 所在記号(請求記号)、図書記号、別置									
3) 校種による配慮事項や適用等									
第6回	<table border="1" style="width: 100%;"> <tr> <td style="width: 15%;">タイトル</td> <td>主題分析と分類作業の実際(4)</td> </tr> <tr> <td colspan="2">1) 日本十進分類法(NDC)による分類演習</td> </tr> <tr> <td colspan="2">2) 所在記号(請求記号)、図書記号、別置</td> </tr> <tr> <td colspan="2">3) 校種による配慮事項や適用等</td> </tr> </table>	タイトル	主題分析と分類作業の実際(4)	1) 日本十進分類法(NDC)による分類演習		2) 所在記号(請求記号)、図書記号、別置		3) 校種による配慮事項や適用等	
	タイトル	主題分析と分類作業の実際(4)							
1) 日本十進分類法(NDC)による分類演習									
2) 所在記号(請求記号)、図書記号、別置									
3) 校種による配慮事項や適用等									

講義回数	講義内容
第7回	タイトル 主題分析と分類作業の実際(5)
	1) 日本十進分類法(NDC)による分類演習 2) 所在記号(請求記号)、図書記号、別置 3) 校種による配慮事項や適用等
第8回	タイトル 主題分析と統制語彙適用の実際(1)
	1) 基本件名標目表(BSH)による件名付与演習
第9回	タイトル 主題分析と統制語彙適用の実際(2)
	1) 基本件名標目表(BSH)による件名付与演習
第10回	タイトル 集中化・共同化による書誌データ作成の実際
	1) CiNiiBooks・NDLサーチ・カード目録の作成過程の比較 2) コンピュータ目録の記述演習
第11回	タイトル 書誌データ管理・検索システムの構築(1)
	1) 書誌コントロール、典拠ファイル、参照 2) 異なるOPACでの比較考察(分類、情報項目、アクセシビリティ等) 3) フリーキーワードでの検索の実際
第12回	タイトル 書誌データ管理・検索システムの構築(2)
	1) 書誌コントロール、典拠ファイル、参照 2) 異なるOPACでの比較考察(分類、情報項目、アクセシビリティ等) 3) フリーキーワードでの検索の実際
第13回	タイトル 多様な情報資源の組織化の実際
	1) 新聞・雑誌・ファイル資料等の組織化の実際 2) 地域資料や行政資料、新聞の切り抜きなどのファイル資料の作成
第14回	タイトル ネットワーク情報資源のメタデータ作成の実際
	1) 図書とホームページのメタデータ作成
第15回	タイトル 総合演習
	1) 学校図書館情報資源組織化の実際と課題

科目名	学校図書館サービス論
------------	-------------------

科目のねらいと概要

学校図書館におけるサービス業務は多岐にわたる。原則的に学校図書館の利用者は児童・生徒や学校職員に限られるが、読書活動を推進しつつ教育課程を支えるという学校図書館の役割を考えたとき、こうしたサービスの充実を求める声はますます広がっていくであろう。

本科目では、学校図書館サービスの基本的な考え方の理解を図り、資料提供、情報提供、地域・他団体・機関等との連携・協力、課題解決支援、コミュニケーション及び学校図書館行事についての基本を解説する。

講義計画

講義回数	講義内容
第1回	タイトル 学校図書館サービスの考え方と構造 1) 学校図書館の法的位置付け 2) 学校図書館の組織と運営 3) 学校図書館の3つの機能(「読書センター」「学習センター」「情報センター」) 4) 学校図書館の利用対象者と、直接的サービス・間接的サービス
	タイトル 学校図書館の運営[年間計画の作成と管理] 1) 学校図書館の基準と運営マニュアル、年間運営計画 2) 年間計画の立案 3) 学校図書館の会計 4) 学校図書館の記録・統計、文書管理
第3回	タイトル 学校図書館の環境整備(1)[資料の分類] 1) NDC(日本十進分類法)に即した配架と案内表示 2) 利用者の実態や学習計画に合わせた配架の工夫
	タイトル 学校図書館の環境整備(2)[展示・掲示] 1) 展示や掲示の工夫 2) 地域性や季節感を生かした環境整備 3) 読書に集中できる環境の確保
第5回	タイトル 学校図書館の環境整備(3)[修理・廃棄] 1) 傷んだ資料の回収と修理方法の習得 2) 読書マナーの周知と徹底 3) 廃棄基準の理解と活用
	タイトル 学校図書館のガイダンス 1) 学校図書館の基本的な役割の理解 2) 学校図書館利用のオリエンテーション

講義回数	講義内容
第7回	タイトル 資料・情報の提供[利用案内と予約サービス、レファレンスサービス]
	1) 利用案内、予約サービスに関する理解 2) 児童生徒の読書意欲の喚起と知る意欲の支援 3) 読書や学習の相談への対応と、必要な資料の探し方の指導 4) 日常の情報収集と新聞記事の活用 5) 作家の紹介と作品の舞台についての情報提供
第8回	タイトル 児童生徒への読書支援(1)[読書活動の推進と図書館行事]
	1) 学校図書館行事の意義とさまざまな読書支援の手法 2) 図書館行事の計画・実施と読書推進活動
第9回	タイトル 児童生徒への読書支援(2)[読書活動推進の手法]
	1) 「読書会」「朝の読書」「ブックトーク」「書評合戦」「アニメーション」等の用語の理解 2) 発達段階に応じた読書活動推進の様々な手法と実践体験
第10回	タイトル 児童生徒への学習支援(1)[資料を活用した学習のすすめ方]
	1) 資料を活用した学習の実践例 2) 図書リストの作成の指導、パスファインダーの活用、読書相談への対応 3) 協働による指導の手法 4) 公共の施設や人的な情報源に関する情報収集
第11回	タイトル 児童生徒への学習支援(2)[特別な支援を必要とする児童生徒に対する支援]
	1) 児童生徒理解に基づいた支援 2) 情報活用能力の育成に関する支援 3) 必要に応じた指導者への助言
第12回	タイトル 教職員への支援
	1) 資料提供、情報提供、教材準備に関する支援 2) 学習効果を高めるための授業における協働
第13回	タイトル 広報活動
	1) 図書館だよりやホームページの効果的な編集・活用 2) 図書館側からの積極的な情報発信
第14回	タイトル 渉外活動
	1) 学校行事充実のための学校図書館資料の提供 2) 宿泊活動、季節に関する行事等におけるパンフレット・ファイル資料の活用 3) 地域との連携
第15回	タイトル これからの学校図書館サービス
	1) 学校図書館サービスをめぐる課題 2) 学校図書館サービスの展望

科目名	学校図書館情報サービス論
------------	---------------------

科目のねらいと概要

学校図書館を活用した学習を展開するに当たり、教職員が情報サービスの種類や各種情報源の特性を熟知していることは、児童生徒への資料・情報を適切な提供につながり学習の効果を高める。

本科目では、学校図書館における情報サービスの意義・目的を明らかにし、学校図書館利用教育、参考図書・データベース等の情報源、並びにレファレンスサービス、情報検索サービス、発信型情報サービス等のサービス方法について解説し、必要に応じて演習を行う。

講義計画

講義回数	講義内容
第1回	タイトル 学校図書館における情報サービスの意義 1) 学校図書館設置の理由と役割(具体例を通して) 2) 学校図書館と公共図書館の機能の違いと情報サービスの意義 3) 教員への情報サービスの意義
	タイトル 情報サービスの理論と実際 1) 情報サービスの種類と情報検索の方法
第3回	タイトル レファレンスコレクションの整備(1)[参考資料の提供] 1) 参考資料、地域資料等についての収集方法、管理方法、価値等
	タイトル レファレンスコレクションの整備(2)[ファイル資料の提供] 1) ファイル資料の作成についての実習 2) ファイル資料の活用方法
第5回	タイトル レファレンスコレクションの整備(3)[二次資料の提供] 1) 二次資料の意義と作成方法、留意事項、活用方法等
	タイトル レファレンスコレクションの整備(4)[実物・模型資料の提供] 1) 実物資料や模型資料の価値と活用方法 2) 実物資料の収集と展示、模型資料の作成と保管についての実習
第6回	

講義回数	講義内容
第7回	タイトル レファレンスコレクションの整備(5)[その他のリスト等]
	1)各種資料リストの学習時における有効な活用方法 2)パスファインダーの意義と活用方法 3)リンク集の作成方法と学習への活かし方
第8回	タイトル 各種情報源の比較と評価
	1)児童生徒の発達段階を踏まえた適切な情報源と効果的な支援方法 2)得られた情報に関する信憑性の評価(比較による価値判断、思考、選択) 3)学校司書と司書教諭の協働
第9回	タイトル 児童生徒及び教職員からの相談・質問への対応[レファレンスの基本]
	1)検索方法の整備と指導の在り方の理解と体験 2)多様な質問の想定と対応、質問者の発信を受止める感性 3)質問しやすい環境づくりと具体的な対応の体験
第10回	タイトル 情報サービスの提供による探究的な学習の支援(1)[学び方・課題づくり]
	1)課題の設定の適否と児童生徒の学び 2)日常の経験の積み重ねと課題設定 3)関連図やウェビングマップ等の活用を通じた課題作成の方法
第11回	タイトル 情報サービスの提供による探究的な学習の支援(2)[情報の収集と選択]
	1)教育計画を踏まえた利用者ニーズとテーマに沿った情報収集 2)新たな情報の収集と情報収集の必要性 3)有効な情報を選び出す方法(事例を通して) 4)情報源の違いと、その特性
第12回	タイトル 情報サービスの提供による探究的な学習の支援(3)[自作資料の提供]
	1)学習に役立つ情報の選択と資料化する活動 2)目的に合わせた情報の選択
第13回	タイトル 情報サービスと著作権(1)[学校図書館と著作権]
	1)著作権法に示された内容と法の趣旨 2)著作権を尊重する意識を高める指導
第14回	タイトル 情報サービスと著作権(2)[著作権に関するQ&A]
	1)具体的な事例に基づいた著作権の関与と対応 2)著作権に関する理解度の確認(演習問題への取組を通して)
第15回	タイトル これからの学校図書館情報サービス
	1)学校図書館情報サービスをめぐる課題 2)学校図書館情報サービスの展望

科目名	学校教育概論
------------	--------

科目の概要とねらい

本科目は、学校教育の意義とその果たすべき役割を明らかにする。学校司書に求められる必須知識としての学校教育の基本的事項について、教育学・心理学の視点から講じる。
現代の学校教育における児童・生徒をめぐる様々な状況(特別な教育的ニーズを必要とする子どもの存在など)についての基本的な理解を図る。さらに、教育学や心理学の諸理論の学習を通して、「学校」というコミュニティの「心臓」であるべき図書館(school library)に求められる役割を考える。

講義計画

講義回数	講義内容
第1回	タイトル 学校教育の意義と特質 1) 学校教育の意義と目標 2) 学校教育の特質: 社会教育・家庭教育との比較
	タイトル 学校教育の歴史 1) 近代日本における公教育の歴史 : 戦前 2) 近代日本における公教育の歴史 : 戦後
第3回	タイトル 学校教育と法 1) 教育基本法 2) 学校教育法(同施行規則も含む) 3) その他の主な教育法規
	タイトル 日本における教育行政の仕組み: 中央教育行政と地方教育行政 1) 中央教育行政: 文部科学省 2) 地方教育行政: 教育委員会
第5回	タイトル 学習指導要領と教育課程(カリキュラム) 1) 「学習指導要領」とは何か 2) 戦後日本における学習指導要領の変遷 3) 近年における学習指導要領の改訂動向と教育課程
	タイトル 教育課程(カリキュラム)の諸類型 1) 教育課程(カリキュラム)の編成原理 2) 教育課程(カリキュラム)の諸類型

講義回数	講義内容
第7回	タイトル 教育方法・学習形態の諸類型
	1) 一斉授業 2) 学習形態の諸類型 3) 「アクティブラーニング」とは何か
第8回	タイトル 学校教育と教科書(1) [検定と採択の仕組み]
	1) 近代日本における教科書制度の歴史 2) 教育法規における教科書の位置づけ
第9回	タイトル 学校教育と教科書(2) [教材としての教科書]
	1) 教材としての教科書 2) 海外の教科書制度との比較 3) デジタル教科書
第10回	タイトル 子どもの発達と学校教育
	1) 学齢期における子どもの発達段階の特徴 2) 主要な発達理論(ピアジェ、ヴィゴツキーなど)
第11回	タイトル 教授・学習過程の心理学
	1) 学習のレディネス 2) 学習に対する動機づけ(内発的動機づけと外発的動機づけ)
第12回	タイトル 特別支援教育の現状と課題
	1) 日本における特別支援教育の現状 2) 特別支援教育をめぐる教育法規 3) インクルーシブ教育
第13回	タイトル 現代の学校教育における諸課題(1) [不登校・いじめ・貧困]
	1) 不登校 2) いじめ 3) 子どもの貧困
第14回	タイトル 現代の学校教育における諸課題(2) [「チーム学校」の可能性]
	1) 「チーム学校(チームとしての学校)」とは何か 2) 教員以外の専門職との協働による支援体制の構築
第15回	タイトル これからの学校教育に関する展望
	1) 学校教育の展望 2) 「学校」というコミュニティにおける学校図書館の果たす役割

科目名	学習指導と学校図書館
------------	-------------------

科目の概要とねらい

学校図書館は「教育課程の展開に寄与」するため、児童生徒の主体的な学びを支える様々な情報資源を収集し、利用に供している。

本科目は学校図書館が学習センターとしての機能を果たし、学校司書が司書教諭や教科教諭と協働して児童生徒の学習支援を行う際に必要な知識や技能を身につけることを目標とする。

また、学校図書館を活用した授業の実践事例を校種別に紹介し、学習指導案の読み方や学校図書館情報資源を活用した情報活用能力の育成について理解を図る。

講義計画

講義回数	講義内容
第1回	タイトル 学習指導要領と教育課程 1)「学習指導要領」と「主体的・対話的で深い学び」 2)「学習指導要領」における学校図書館に関する記述 3)学校の教育課程と学習指導計画
	タイトル 教育課程と学校図書館 1)教育課程の展開における学校図書館の活用 2)学校の諸計画と学校図書館との関わり
第3回	タイトル 現代の教育課題と学校図書館 1)多様な教育課題と児童生徒の学びを支える学校図書館の役割 例)「生涯学習社会」「知識基盤社会」「高度情報通信社会」「グローバル化社会」 「持続可能な開発目標(SDGs)」「キーコンピテンシー」 2)カリキュラムマネジメント
	タイトル 学習センターとしての学校図書館の役割と機能 1)発達段階ごとの児童生徒の学習特性の理解 2)児童生徒への学習支援の方法 3)学校図書館が学習センターとしての役割と設備・機能の整備
第5回	タイトル 学習指導における情報サービス 1)学校図書館における情報サービス 2)情報サービスにおける学校司書の役割 3)「教科学習」「特別活動」「道徳」「総合的な学習の時間」等における情報サービス 4)「ブックリスト」「パスファインダー」「レファレンス」等情報サービスのさまざまな方法 5)児童生徒に対するレファレンスインタビューの留意点 6)類縁機関の特色・役割と連携の実際 7)類縁機関との連携による学習指導や情報サービスの実践例
	タイトル 主体的な学びを支える多様な学校図書館の情報資源 1)学習用図書、レファレンストータル、ブックレット、ファイル資料、継続刊行物 2)利用目的に応じたさまざまなネットワーク情報源 3)ネットワーク情報源を活用する際の具体的な留意事項 4)発達段階に応じた情報資源の選択

講義時数	講義内容
第7回	タイトル 学校図書館を活用した授業の実践事例(小学校・特別支援学校)
	1) 小学校、特別支援学校における授業の事例と学校司書の役割 2) 授業の事例と学習指導案
第8回	タイトル 学校図書館を活用した授業の実践事例(中学校・高等学校)
	1) 中学校、高等学校における授業の事例と学校司書の役割 2) 授業の事例と学習指導案
第9回	タイトル 情報活用能力を育てる学校図書館の役割と機能(1)
	1) 情報活用指導計画 2) 情報活用指導計画の展開における学校司書の役割
第10回	タイトル 情報活用能力を育てる学校図書館の役割と機能(2)
	1) 「情報・メディアを活用する学び方の指導體系表」 2) 探究学習のステップ／スキル 例) 「the Big Six Skills」「the Super Three」「Focus on Inquiry」「6プロセス9アクション」
第11回	タイトル 学校図書館の利用指導
	1) 学校図書館オリエンテーション 2) 発達段階に応じた情報活用能力育成のための利用指導
第12回	タイトル 教職員サポートの実際
	1) 教材研究の支援の方法 2) 授業計画案、学習指導案作成の支援の方法
第13回	タイトル 学習指導における司書教諭と学校司書の役割
	1) 学校図書館における司書教諭と学校司書のそれぞれの専門性の理解 2) 学習指導における司書教諭と学校司書の協働の事例
第14回	タイトル 特別な支援を要する児童生徒への学習支援
	1) 障がいのある児童生徒、帰国児童生徒、外国にルーツを持つ児童生徒等の学習特性と支援方法 2) 特別な支援を要する児童生徒への学習支援ツール 3) 特別な支援を要する児童生徒への学習支援体制
第15回	タイトル 展望と課題
	1) 学校図書館における学習指導の展望と課題

科目名	読書と豊かな人間性
------------	------------------

科目の概要とねらい

児童生徒の豊かな人間性をはぐくみ、生涯にわたる読書習慣を身につけるためには、学校図書館を中心に全校で意図的・計画的な読書指導を行うことが必要である。

本科目では学校図書館が「読書センター」としての役割を果たし、学校司書が司書教諭、担任教諭と協働して読書指導を行う際の理念と方法について理解を図る。

また子どもの本の専門職として、児童生徒を適時に、適書を、適切な方法で紹介できるよう発達段階に応じた多様な読書材を知り、児童生徒と本をつなぐ具体的な方法について技能の習得を図る。

講義計画

講義回数	講義内容
第1回	タイトル 読書の意義と目的 1) 読書の定義 2) 児童生徒の心を育て、豊かな人間性を養うために読書が果たす意義 3) 読書指導論の系譜 4) 生涯にわたる読書習慣を身につけるために学校図書館が果たすべき役割の考察
	タイトル 児童生徒の読書環境 1) 児童生徒を取り巻く社会、環境、新しい潮流 例)「生涯学習社会」「知識基盤社会」「高度情報化社会」「グローバル化社会」 「持続可能な発展目標(SDGs)」「キーコンピテンシー」 2) 児童生徒の読書の現状(学校読書調査等)、学校図書館の現状 3) 子どもの本の出版と流通
第3回	タイトル 「子どもの読書活動」の推進 1) 「子どもの読書活動の推進に関する法律」「子どもの読書活動の推進に関する基本的な計画」および都道府県、市町村の計画を踏まえた読書活動の推進 2) 読書指導計画に即した読書活動の実践と、児童生徒の実態を踏まえた読書活動の実施
第4回	タイトル 児童生徒の発達段階に応じた読書指導 1) 読書能力の発達と読書興味の発達 2) 小学校期の読書(ひとり読み) 3) 中・高校期の読書(自立的な読書) 4) 児童生徒の読書の領域を広げる指導 5) 読書記録の指導
	タイトル 子どもの本の理解(1) 1) 子どもが初めて出会う本(ファーストブック、ボード絵本) 2) 初めてのひとり読みの本(ストーリー絵本、幼年童話) 3) 童話・児童読み物の本
第6回	タイトル 子どもの本の理解(2) 1) ノンフィクション、知識の本、科学読み物 2) 子どものためのレファレンスブック

講義回数	講義内容
第7回	タイトル 子どもの本の理解(3)
	1) YA(ヤングアダルト) 2) マンガ 3) 電子書籍の現状とコンテンツ 4) 雑誌・新聞
第8回	タイトル 子どもの本の評価
	1) 子どもの本を評価する指標、規準 2) 子どもの本のリスト、書誌 3) ブックリストや書評の作成技術
第9回	タイトル 児童生徒と本をつなぐ方法(1)
	1) 児童生徒を読書にいざなうさまざまな方法(講義と実演) 例)「読み聞かせ」「ストーリーテリング」「パネルシアター」「エプロンシアター」 「ペープサート」「読書へのアニメーション」「ブックトーク」「(朝の)一斉読書」 「ビブリオバトル」「読書会」「リテラチャーサークル」
第10回	タイトル 児童生徒と本をつなぐ方法(2)
	1) 児童生徒を読書にいざなうさまざまな方法(実習)
第11回	タイトル 児童生徒と本をつなぐ方法(3)
	1) 児童生徒を読書にいざなうさまざまな方法(発表と相互評価)
第12回	タイトル 個に応じた読書支援
	1) 読書に困難がある児童生徒や外国にルーツのある児童生徒の読書支援ツール、メディア、方法 例)「LLブック」「マルチメディアデジター」「リーディングトラッカー」「対面朗読」 「手話朗読」「大活字本」「拡大読書器」「点字図書」「布絵本」
第13回	タイトル 家庭、地域、公共図書館、学校図書館支援センター、類縁機関との連携
	1) 家庭における読書推進活動(親子読書、家庭読書、地域読書など)の支援の方法 2) 地域の文庫や読書推進サークル、諸機関の活用と連携 3) PTAや地域のボランティアを受け入れる際の留意点 4) 諸機関との連携による読書指導の実践例
第14回	タイトル 読書指導における司書教諭と学校司書の連携
	1) 読書指導における司書教諭、学校司書それぞれの専門性の理解と協働 2) 読書指導における司書教諭と学校司書の協働の実践事例
第15回	タイトル 展望と課題
	1) 読書指導の展望と課題